

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年7月14日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年7月14日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【1号機西側における800トン クローラクレーンからの油滴下について】 当社社員により、1号機西側において800トン クローラクレーンの日常点検(起動前)をしていたところ、クレーン内部の油圧ポンプ接続配管フランジ部より油の滴下を確認。 滴下した油は、敷鉄板上に溜まっており、土壌への浸透や排水路への流入はなし。 油圧ポンプ出口配管フランジ部ボルトの増し締めを実施し、滴下停止を確認。 また、滴下した油の拭き取り、受けパンを設置済み。 消防署により「クローラクレーンからの油漏れ事象」と判断。</p>	GⅢ	7月9日
2	<p>【2号機南側ヤード干渉物他撤去工事における体調不良者発生について】 2号機南側において車両誘導を行っていた協力企業作業員が体調不良を訴え、救急医療室へ搬送。 救急医療室にて、脱水症と診断。 点滴の処置を受けた後、帰宅。</p>	GⅢ	7月9日